

豊島の風土を訪ねて

旧長崎町編

# 風 薫 る 里

[32分]



豊島区の旧長崎町は、区内でも比較的近年に都市化した地域です。戦時においても他の地域と比較して農地が多く、戦災の影響も少なかったため、江戸近郊農村の面影を今でも見ることができます。

五穀豊穡を祈り舞う長崎神社の獅子舞、旧長崎村字五郎窪・長崎稻荷の五若神輿。餅つき唄、麦打ち唄ののどかな調べ。長屋門と農具の数々。そして、路傍の庚申塔や石仏など、民俗的な色彩が今も色濃く残されています。

しかし一方で、こうした農村風景も、大正の中頃から行なわれた耕地整理事業と関東大震災後の人口流入の結果、新しい住宅地へと変わっていきました。その過程で、多くの芸術家を輩出したアトリエ村の出現は、日本の文化史にも特筆される事項です。

かつては、農業用水として生活の中心であった谷端川のせせらぎを、幼い頃の思い出とする人々も少なくなってきた今。この映画は、ふるさとの急激な変貌の中に200年以上もその身をさらしてきた樺の古木の姿を美しく描きながら、庶民の生活と文化、そしてこのまちの風土を詩情豊かに歌い上げていきます。 [昭和62,63年度製作]

☆平成元年文部省選定

昭和62・63年度制作  
企画・東京都豊島区  
制作・中日映画社  
16ミリカラー・32分

映画「豊島の風土を訪ねて」シリーズ

旧巢鴨町編「花とみどりの里」

旧高田町編「おもかげの道」

旧長崎町編「風薫る里」

旧西巢鴨町編(平成2年度完成予定)

◇16ミリ・フィルム・ビデオテープ貸出し

豊島区立中央図書館

☎(983)7861

◇ビデオテープ貸出し・問合せ

豊島区企画部広報課

☎(981)1111

映画「豊島の風土を訪ねて・旧長崎町編」

風薫る里

## 「風薫る里」解説

豊島区の旧長崎町は、区内でも比較的近年に都市化した地域である。戦時においても他の地域に比較して農地が多く、戦災の影響も最も少なかったため、江戸東京近郊農村の面影を今でも見ることができる。

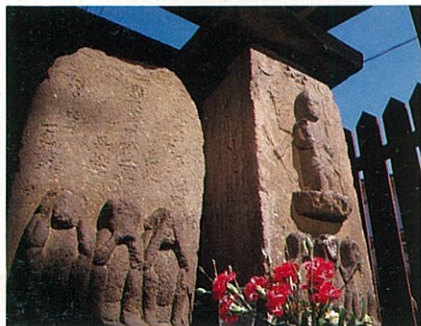
五穀豊穡を祈り舞う長崎神社の「獅子舞」、旧長崎村字五郎窪・長崎稻荷の「五若神輿」。餅つき唄・麦打ち唄ののどかな調べ。長屋門と農具の数々。かつての農耕生活をしのばせる幾多の風景。

路傍の延命地蔵、庚申塔などの石仏。手造りの精霊棚。庶民の素朴な信仰の姿。民俗的色彩が今も色濃く残る地域である。

農業用水として村生活の中心であった谷端川の流れ。そのせせらぎを幼いころの思い出とする人達も少なくなってきた。村の南部、鼠山には、八代将軍吉宗がたびたび猪や鷹を追って立ち入ったと記録にも残されている。

こうした農村風景も、大正の中頃から行なわれた耕地整理と関東大震災後の人口流入の結果、新しい住宅地へと変わっていく。多くの芸術家を輩出したアトリエ村の出現は日本の文化史にも特筆される。

映画は、樹齢二百年を数える樺の四季折々の姿を美しく描きながら、庶民の生活と文化、そして旧長崎町の風土を詩情豊かに歌い上げていく。



左 長崎三丁目の庚申塔  
右上 長崎獅子舞  
右中 五若神輿  
右下 餅つき唄



### 【構成概要】場面順

オープニング／長崎の夜明け／そびえ立つ樺／岩崎家と樺／鷹場絵図／江戸名所図会・雑司谷八境の鼠山／御鷹野目録・将軍吉宗の鷹狩／御府内場末沿革図書にみる長崎／金剛院／板碑／長崎神社／手水鉢・十羅刹女社／板橋宿への道標・地蔵／延命地蔵／高松の庚申塔／長崎最古の庚申塔／国指定文化財・富士塚／粟島神社と弁天池／千川上水と谷端川／長崎の春祭・獅子舞／田島家の長屋門／安田家の精霊棚／新しい村づくり／耕地整理／椎名町駅の誘致／昭和初期の長崎風景／麦打ち唄／熊谷画伯と熊谷守一美術館／アトリエ村／秋祭・五若神輿／冬・餅つきと餅つき唄／春・新芽を吹き出す樺／新緑の長崎／エンディング

